



キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地

## 槇原敬之逮捕で注目。精神科医が警告する「薬物報道の在り方」

4/1(水) 8:46配信

bizSPA!  
フレッシュ

松本俊彦医師

「違法薬物よりも、市販薬やアルコールのほうが危ない」

長年専門医として依存症の治療に当たってきた国立精神・神経医療センター薬物依存研究部長の松本俊彦医師はそう指摘します。

違法薬物は薬物乱用防止教育で「ダメ絶対!」なものとしてされてきました。また槇原敬之、沢尻エリカ、田口淳之介(元KAT-TUN)など薬物使用した芸能人はセンセーショナルに報道されます。

果たして何が正しいのか。違法薬物だけでなく、アルコールや市販薬など依存症につながるものに囲まれる中で私たちは何にどう気を付ければよいのか、話を聞きました。

### 薬物使用の一番の被害は社会からの孤立

——そもそも、薬物に対して日本ではどのような規制、対策が取られているのですか？

松本俊彦(以下、松本)：日本は現在、一部の薬物の使用や所持などを犯罪として取り締まり、それに加えて『ダメ。ゼッタイ。』に象徴される、薬物乱用防止教育も徹底して行っています。

確かに、取り締まりを強化することや乱用防止教育は、薬物消費量を減らすには、一定程度有効でしょう。最初の1回をやらなければ薬物依存症にはなりようがありませんから。

ですが、日本人の場合は捕まらない薬物の問題が非常に深刻です。薬物依存症外来に来る患者さんの半数は覚せい剤や大麻など違法な薬物の依存症ですが、実は、残りの半分は処方薬や市販薬の依存症なのです。

——処方箋や市販薬でも使い方を間違えると依存症になってしまうんですね。

松本：また、アルコールの問題も大きい。依存症の専門外来で見ている、一番体がボロボロになっているのはアルコールを乱用している人たちです。内臓は深刻に損傷され、脳も萎縮していて、なかには、酒をやめても取り返しがつかない状態になっている人も少なくありません。

暴力事件の加害者の半数以上が当時酒を飲んでいたというデータがありますし、DVや性暴力、児童虐待の背景にもアルコールがあると考えられています。もちろん、飲酒運転事故による被害もあります。健康や社会への被害という点で考えればアルコールが一番問題です。

それに対して特に覚せい剤は一人で部屋にこもるようになってしまうので、アルコールに比べると、被害が他者にまで広がりにくいのです

次ページは：違法薬物を使う最も深刻な被害は？

前へ 1 2 3 4 次へ

1/6ページ

#### 【関連記事】

[沢尻、國母…相次ぐ薬物事件。10～20代でも急増する薬物事情](#)

[20代に広がる“麻薬だけじゃない”依存症。アルコール、処方薬にも…](#)

[「危ない副業」にハマった29歳、処方薬の転売で月数万円](#)

[ストロング缶と人工甘味料の組み合わせは、本当に危険？専門医に聞いた](#)

[誰もが依存症になるリスクを抱えている。ソーシャルワーカーに聞く治療法](#)

最終更新:4/1(水) 8:46

[bizSPA! フレッシュ](#)



キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地

## 槇原敬之逮捕で注目。精神科医が警告する「薬物報道の在り方」

4/1(水) 8:46配信

bizSPA!  
フレッシュ

### 違法薬物を使う最も深刻な被害は？



——実際、違法薬物を使うことによる最も深刻な被害はなんですか？

松本：それは、刑罰を受け“犯罪者”“ムシヨ帰り”になり、仕事や家族を失い、社会内に居場所を失って孤立することです。

※イメージです (以下同じ)

加えて、日本では、薬物を使うのは極悪人だ、というラベリングが乱用防止教育の中でかなり刷り込まれ、人々のあいだに薬物依存症の人に対する強い偏見が植えつけられています。その結果、違法薬物の依存症になった人が治療や支援を受けづらくなっています。

中高生が描く薬物乱用防止のポスター、コンクールで都知事賞や県知事賞をもらっている絵をみると、だいたい、モンスターやゾンビのような薬物依存症者たちが、両手に注射器をもって子供たちに襲い掛かる、そんな構図ばかりです。

そればかりか、肝心の医療機関の方でも薬物依存症お断りという施設はすごく多いのです。精神科領域でも薬物依存症の患者さんを診たがらない病院はめずらしくありません……。

### 薬物依存症になるとどうなるのか？

——精神科で、ですか!?

松本：はい。そもそもの前提として薬物依存症の専門病院が非常に少ないという問題もありますが、「薬物を使ってしまった」「薬物がやめられない」と、薬物依存症の最も中核的な症状を申告すると、通報してしまう医師もいるのです。医師は本

来守秘義務があるはずですが(苦笑)。

確かに、犯罪行為に関しては守秘義務違反には問われません。ですが、通報すれば、違法薬物を使っている人はますます怖がり、治療を受けられなくなっていくます。依存症の患者さんが治療にアクセスできないことは、国民の薬物消費量を減らすうえでも問題です。

たとえばなしですが、目の前に違法薬物を置かれて「今すぐ捨ててください、持って帰ってはだめです」といわれて、ポケットに忍ばせて持って帰るか、といえはまずしない、捨てられますよね？

——そうですね。それが普通だと思いますが……。

松本：でも依存症の人はそれができません。薬物消費量を減らすためには、薬物がコミュニティにあるかないか、だけではなく、薬物を欲しがっている人がいるかどうか、つまり、規制により供給を減らすだけでなく、需要を減らすことが大切なのです。

需要を減らすとき、ターゲットになるのがやめたくてもやめられない依存症の人たちなのです。そのためには彼らへの治療が必要ですが、現在の日本は取り締まり一辺倒、支援がおろそかになっています。

それだけでなく、社会の中でスティグマタイズ(負のレッテルを貼られてしまう)され、援助者や支援者からも断られ、治療につながっていません。

次ページは：負のレッテルが貼られる背景



2/6ページ

#### 【関連記事】

[沢尻、國母…相次ぐ薬物事件。10～20代でも急増する薬物事情](#)

[20代に広がる“麻薬だけじゃない”依存症。アルコール、処方薬にも…](#)

[「危ない副業」にハマった29歳、処方薬の転売で月数万円](#)

[ストロング缶と人工甘味料の組み合わせは、本当に危険？専門医に聞いた](#)

[誰もが依存症になるリスクを抱えている。ソーシャルワーカーに聞く治療法](#)

最終更新:4/1(水) 8:46

[bizSPA! フレッシュ](#)



キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地

## 槇原敬之逮捕で注目。精神科医が警告する「薬物報道の在り方」

4/1(水) 8:46配信

bizSPA!  
フレッシュ

### 負のレッテルが貼られる背景



—なぜ、スティグマタイズされてしまうのでしょうか？

松本：実は日本国民の中で一生のうちに違法薬物を一回でも使ったことがある人がどれくらいいるのかを明らかにした調査があります。調査によれば、約2.3%だそうです。

[bizSPA!フレッシュ](#)

違法薬物の使用歴を教えてくださいと尋ねられ、正直に答える人がどれだけいるのかは疑問が残りますが、一度でも使ったことがある方が2.3%だとすれば、おそらく依存症になる人は0.0何%程度しかいないと考えられます。

つまり、普通の生活をしていると、ほとんどの人は薬物依存症だとカミングアウトしてくれる人には会わずに生涯を終えられます。

ですが、薬物依存症の人にとって実際にコミュニケーションをとった経験がないにも関わらず「危ない人たち」と決めつけ、ダルク（薬物依存症者自身が運営する民間のリハビリ施設）の建設反対運動まで行われたりする。

### 「覚せい剤やめますか、それとも人間やめますか」の影響

—なぜ、人々がそこまで過敏になっているのでしょうか？

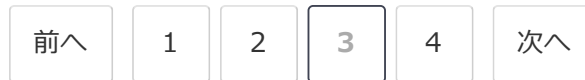
松本：なぜかといえば、啓発の中で薬物を使う人は怖い、極悪人だ、と教えられてきたからです。通り魔事件や、世間を震撼させる凶悪な殺人事件でも背景には別の病気があったりするのに、ことさらに薬物と絡めて報道される。だから、怖くなってしまふ。

お年寄りの方だと、約30年前に民放連（日本民間放送連盟）が出していた啓発広告「覚せい剤やめますか、それとも人間やめますか」の影響もあるでしょう。近所に「人間をやめた」人が住んでいたら、そりゃあ当然怖い。

でも、違法薬物の使用は人を殺したわけでもなければ、誰かの財産を奪ったわけでもありません。“被害者なき犯罪”といってもいいものです。「誰かに迷惑をかけているじゃないか！」という意見もあるでしょう。ですが、それを言うなら少なくとも薬理作用だけでいったら、違法薬物よりも、暴力行動につながりやすいアルコールのほうがはるかに深刻です。

日本では国民の健康や福祉向上のために行われているはずの規制がそれを上回っている現状があります。

次ページは：薬物使用を非犯罪化が世界の流れ



3/6ページ

#### 【関連記事】

沢尻、國母…相次ぐ薬物事件。10～20代でも急増する薬物事情

20代に広がる“麻薬だけじゃない”依存症。アルコール、処方薬にも…

「危ない副業」にハマった29歳、処方薬の転売で月数万円

ストロング缶と人工甘味料の組み合わせは、本当に危険？専門医に聞いた

誰もが依存症になるリスクを抱えている。ソーシャルワーカーに聞く治療法

最終更新:4/1(水) 8:46

**bizSPA! フレッシュ**



愛知の自宅『まさかの金額』8年後に判明

ウチウル

[もっとみる](#)



食後の歯磨きは口臭に逆効果？医師が暴露

smart-picks

[もっとみる](#)

こんな記事も読まれています



キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地

## 槇原敬之逮捕で注目。精神科医が警告する「薬物報道の在り方」

4/1(水) 8:46配信

bizSPA!  
フレッシュ

### 薬物使用を非犯罪化が世界の流れ

——海外での薬物使用や依存症対策はどのように行われているのでしょうか？



bizSPA!フレッシュ

松本：世界では薬物を非犯罪化し、健康問題として対処していこうという流れになってきています。もちろん、それまでは各国もまた日本と同様、厳罰をもって薬物問題と向き合ってきました。初めて実効性のあるかたちで国際社会が協働し、法と刑罰をも

って薬物を規制することがはじまったのはほんの60年前、1961年のことです。

第二次世界大戦後、国連がちゃんと機能するようになり、そこで初めて「麻薬に関する単一条約」（主に麻薬の乱用を防止するため、医療や研究などの特定の目的について許可された場合を除き、これらの生産および供給を禁止するための国際条約）ができたのです。

日本も含めて多くの国が批准し、条約に基づき、薬物規制の法律を作り、規制していくようになりました。

ですが、法と刑罰による規制で薬物をコントロールしようとした結果、何が生まれたかといえば、この60年近くのあいだ、世界中のアヘンやコカインの生産量は激増しています。そして、アヘンを規制するとモルヒネを使う、モルヒネを規制するとヘロインを使う、といったように、規制を強化すればするほど、より危ない薬物が出てきてしまった。

### オランダが薬物許可に移行した理由

松本：ここでヨーロッパ諸国は薬物の問題を健康問題として考える流れに変わっていきます。オランダを中心に、ハームリダクションという政策を取り始めました。

簡単にいうと、国民の薬物使用量を減らすのではなく、薬物使用の結果生じる様々な害（ハーム）を減らす政策です。その具体的な方法のひとつとして、国が使用を許可して薬物をコントロールするというものがありました。

一方、アメリカ、特に連邦政府のレベルでは引き続き厳罰で進みました。でも、その結果、刑務所に収容される人がどんどん増えた。加えて、不潔な注射器を共有することによりHIVがどんどん広がってしまった。

しかも、今度はヘロインよりもっと強力なフェンタニールやオキシコドンと呼ばれるような処方麻薬がアメリカ中に広がり、多量服薬により、多くの人々が亡くなるという、現在も炎上中の問題が起こってしまいました。

次ページは：本当に必要なのは儲からない仕組みづくり



4/6ページ

#### 【関連記事】

沢尻、國母…相次ぐ薬物事件。10～20代でも急増する薬物事情

20代に広がる“麻薬だけじゃない”依存症。アルコール、処方薬にも…

「危ない副業」にハマった29歳、処方薬の転売で月数万円

ストロング缶と人工甘味料の組み合わせは、本当に危険？専門医に聞いた

誰もが依存症になるリスクを抱えている。ソーシャルワーカーに聞く治療法

最終更新:4/1(水) 8:46

**bizSPA! フレッシュ**



愛知の自宅『まさかの金額』8年後に判明

ウチウル

もっとみる



マスクが臭くなる人注目の口臭ケアとは

smart-picks

もっとみる

こんな記事も読まれています





キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地

## 槇原敬之逮捕で注目。精神科医が警告する「薬物報道の在り方」

4/1(水) 8:46配信

bizSPA!  
フレッシュ

bizSPA!フレッシュ

### 本当に必要なのは儲からない仕組みづくり

——麻薬を厳罰化したことでマイナスの影響が出てしまったと。

松本：違法化されることで、反社会勢力がその密売をしのぎにはじめ、南米の麻薬カルテルなどが急成長し、ほとんど国ではコントロールできない状況になってしまった。南米の首脳たちはこれ以上規制があると国がおかしくなるので、とにかく薬物を非犯罪化してほしいと国連にお願いしているくらいです。

本当に必要なのはまともな雇用を作り、街づくりをやり、密売者が儲からない仕組みを作ること。そのためには規制をやめ、非犯罪化すべきではないか、という議論が起きているのが現状です。

こういった流れの中で国連やWHOは薬物問題を非犯罪化し、健康問題として扱うべきだとして動いており、私もそうするべきだと思っています。

### 健康問題へのただしい対策の仕方

——健康問題として扱うというのは具体的にどういった対策をすることをさすのですか？

松本：感染症の例がわかりやすいかと思います。すでに感染した人はその人をケアをしつつ、感染が広がらないよう防止策も取る。

要するに感染してしまった人たちを排除し、差別し、孤立させてしまうことのない感染防止のあり方を模索する、これが健康問題への正しい対策の仕方です。それ

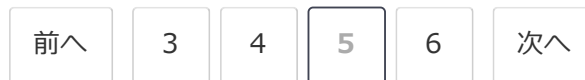
は、ハンセン病やHIV感染症の対策で実践されてきたことです。

ですが、日本では乱用防止が効きすぎている。それは、現在、日本の一部でも生じているような、コロナウイルスに罹患した人に対してバッシングや排除の動きが出ていますね。同じように、薬物依存症になってしまった人がスティグマタイズされてしまっています。

これはデータにも表れています。覚醒剤取締法違反は再犯率が高く、平均年齢もどんどん上がっており、年々受刑者に占める再入所率も高まっています。つまり、覚せい剤依存症という病気が治らないまま、刑務所をいったり来たりしている人たちがいるのです。この事実をもってしても刑罰が全く効いていないことがわかります。

また、法務省のデータをもとに我々が行った調査では、依存症の重症度が重い人ほど、刑務所に戻ってきてしまうことがわかりました。

次ページは：21世紀になっても刑務所に病人がいる



5/6ページ

#### 【関連記事】

[沢尻、國母…相次ぐ薬物事件。10～20代でも急増する薬物事情](#)

[20代に広がる“麻薬だけじゃない”依存症。アルコール、処方薬にも…](#)

[「危ない副業」にハマった29歳、処方薬の転売で月数万円](#)

[ストロング缶と人工甘味料の組み合わせは、本当に危険？専門医に聞いた](#)

[誰もが依存症になるリスクを抱えている。ソーシャルワーカーに聞く治療法](#)

最終更新:4/1(水) 8:46

[bizSPA! フレッシュ](#)



[愛知の自宅『まさかの金額』8年後に判明](#)

ウチウル

[もっとみる](#)



[マスクが臭いのはあなたの口臭のせいかも](#)

smart-picks

[もっとみる](#)

こんな記事も読まれています



キーワードを入力

トップ

速報

映像

個人

特集

みんなの意見

ランキング

有料

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地

## 槇原敬之逮捕で注目。精神科医が警告する「薬物報道の在り方」

4/1(水) 8:46配信

bizSPA!  
フレッシュ

### 21世紀になっても刑務所に病人がいる

松本：やはり法務省のデータを用いた別の研究では、薬物の問題とは別に発達障害やうつ病、統合失調症などメンタルヘルスの問題を抱えている方も、再び薬物に手を出して刑務所に戻ってしまいやすいことがわかっています。ですから、依存症も重症で他にも治療が必要な病気を抱えている人ほど刑務所に入ってきてしまっている。

bizSPA!フレッシュ

普通に考えれば、既存の方法がダメなので、他の方法を考えるべきですが、日本はそうなっていません。精神科外来は18世紀の終わりごろ、精神科医のフィリップ・ピネルが犯罪者と一緒に刑罰で症状を治そうとされていた精神障害者たちを刑務所から病院に移したのが起源とされています。

ですが日本では21世紀になった現在でも、まだ刑務所に入っている病人がいます。正直に言うとこれが現実でしょう。

<取材・文／小林たかし 撮影／詠シルバー祐真>

【松本俊彦（まつもと としひこ）】

精神科医。国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部部長兼 薬物依存症治療センターセンター長。医学博士。1967年生まれ。93年佐賀医科大学医学部卒業。横浜市立大学医学部附属病院などを経て、2015年より現職。近著に『薬物依存症』（ちくま新書）がある

bizSPA!フレッシュ 編集部

前へ

3

4

5

6

次へ